

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		昭和46年以前		根拠法令・例規等		特別児童扶養手当等の支給に関する法律	
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」		問合せ先	担当課(室)	社会福祉課	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち			職・氏名	課長補佐 春森 弘晃	
	小項目	施策	20	障がいのある人への福祉の充実			電話	64-1824	
事務事業名		13		障害者相談員委託事業		このシート作成に要した時間		1.5 時間	

Plan

事業の目的		対象(誰・何に対して)		障がいのある方、その家族など。	
目的(何のために)		障がいのある者の更生援護の相談や家族からの相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、福祉増進に資する。			
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		医療・就職・年金・施設・家庭などの日常生活に關係した専門技術を必要としない相談については、相談員で対応していくことにより、少しでも多くの障がい者やその家族を支援していきたい。			

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		事業の説明		優先度		
目的を達成するための実施した事業	細事業名	身体障害者相談員委託業務		障がい者及び家族の更生援護の相談に応じ、必要な助言及び指導を行い、福祉増進に資する。		○
		知的障害者相談員委託業務		身体障害者相談員11名以内、知的障害者相談員5名以内、精神障害者相談員2名以内		
		精神障害者相談員委託業務				

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	490	490	360
	必要人員件数	人	0.02人	0.06人	0.06人
	事業費	千円	616	966	876
	国県支出金	千円			
	受益者負担金	千円			
繰入金	千円				
市債	千円				
その他	千円				
一般財源	千円	616	966	876	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
障がい者相談件数	説明	件	障害者相談員が1年間で受けた相談件数		
結果指標量		件	192	215	173
対前年比		%	-	112.0%	80.5%
活動コスト		円	616,000	966,000	876,000
単位当たりコスト		円	3,208	4,493	5,064

(平成25年度事業)

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	目標値(A)		384	384	384	384
	実績値(B)		192	215	173	到達目標値
	達成率(B/A)		50.00%	55.99%	45.05%	400
成果指標設定の考え方・式や説明						
身体及び知的障害者相談員が1年間に行う相談及び指導件数(最低 2回/月×12ヶ月=24回×16人=384回)						

Check

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >				
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある				妥当性評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い				B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				効率性評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない				有効性評価 ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低 い
市民参画度		<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				B

事業の目的やその数値目標を指標に留意する

進行年度(H26年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況			○					
説明	身体障害者相談員9名、知的障害者相談員4名、精神障害者相談員2名の計15名で活動を行っている。							

総合評価		総合評価		B
相談員は、障がい者にとって身近な相談者として今後も必要な存在である。相談員によって相談件数にばらつきがあるが、もっと積極的に障がい者やその家族のために活動していただけたよう働きかけていきたい。		ABCDE 高や普や低いや通やい 高 低 い		

Action

平成27年度の方向性・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性			○					
取組目標	機会を捉え少しでも多くの障がい者やその家族の支援をしていきたい。また相談員のスキル向上のための研修を開催したい。							